

各種報告

第9回北九州支部交流ソフトボール大会（地区本部協賛）が開催



11月2日（土）、遠賀川総合運動会公園において、第9回北九州支部交流ソフトボール大会（地区本部協賛）が開催されました。この取り組みは、組合員の団結強化、他単組との交流を目的に、今年で9回目の開催となります。当日は絶好の晴天に恵まれました。最初に主催者を代表してあいさつに立った田代地区本部委員長は、「日頃の運動不足を解消し、たのしく安全最優先でお願いしたい」と述べました。一部職場で土曜出勤となっていた為、参加者が37名と、例年より少ないながらも、好プレー、珍プレー続出で楽しく試合をする事ができました。

試合結果は、貨物鉄産労3対7JR九州労組、貨物鉄産

労15対4九州ロジ労組、JR九州労組5対3九州ロジ労組で、どのチームも1勝1敗となり、得失点差で貨物鉄産労チームが9回目にして初めて優勝することができました。終了後は各チームMVPを発表する中、豪華弁当にビールで楽しいひと時を過ごしました。来年は参加者をもっと増やしてチーム数を1つでも多くして開催できればと考えています。参加者の皆さんお疲れ様でした。



九州交運労協 第29回定期総会を開催

九州交運労協は、去る11月15日、福岡市において第29回定期総会を開催し、「災害に強い街づくりの実現に向けた政策提言の強化」「自動車運転業務従事者の長時間労働是正及び労働環境の改善」「利用者目線に立った利便性の高い交通サービスや、地域交通ネットワークの実現」「交通運輸産業に従事する労働者の労働条件

の向上」などを柱とした、2019年度の活動方針を満場一致で決定し、陸・海・空・観光・サービスに働く13構成組織4万3千人が、総力を挙げて奮闘していくことを確認しました。なお、役員改選では、義長の大庭広文氏と、長きにわたり事務局長を務めた、越智直樹氏が退任、新議長にはJR連合九州地協議長の中原博徳氏が選出されるとともに26名の新たな幹事役員体制を確立しました。



貨物鉄産労福岡支部と九ロジ福岡東事業所の組合員との合同忘年会

12月13日、貨物鉄産労福岡支部と九ロジ福岡東事業所の組合員との合同忘年会を行いました。15名の仲間が参加し、日ごろ同じ福岡夕構内で働く者として、仕事の話、組合の話に花が咲きました。なお、山崎前委員長は、今月から福岡東事業所で中継トラック・検修トラックに乗っています。



JRグループ労組連絡会「第2回分科会プロジェクト」開催

JRグループ労組連絡会は12月12日、大阪市で「第17回分科会プロジェクト（以下PT）」を開催し、幹事会とグループ93単組の代表者、エリア連合担当者など総勢110人が出席し、貨物鉄産労から小山中執・南関東ロジから山田委員長・中国ロジから石井書記長が参加しました。PTでは、加盟全単組がグループ会社における離職者の増加とそれによる人出不足の常態化に危機感を強く持ち、2020春闘では離職の原因と対策をあらゆる観点から追求し、JRグループで働くすべての仲間が退職まで安心して働き続けることのできる就労環境を実現していくため奮闘することを意思統一しました。また、JR連合と加盟全単組が目指す運動の理念と方向性について意見交換を行い共有を図りました。

幹事会を代表して八木大星代表幹事は、2020春闘について、「中期労働政策ビジョン（2019～2023）」で設定した各種目標の達成に取り組むことを基軸としつつも、中小企業への

本格施行が目前に迫っている改正労働基準法や、同一労働同一賃金の法整備にむけた会社の対応が遅れていることを指摘し、分科会の取り組みを共有化し、今後の取り組みに活かしていくことを要請しました。また、未だに労働組合に加入していない未組織労働者が多数存在している状況を踏まえ、「JR産業における民主的な労働組合と健全な労使関係の必要性を、2020春闘を通じて内外に訴えていこう」と呼びかけました。JR連合及びJRグループ労組連絡会は、PTでの議論経過等を踏まえ、今後2020春闘方針（案）の策定を進め、2月に開催予定の「2020春闘総決起集会」において確認・意思統一することとしています。



今年、最後の新聞となりました。一年間、ご理解ご協力ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。